SPECIAL ISSUE
特集 手袋㊤

高付加価値製品投入で新規市場開拓

アトム

夏用作業手袋を新開発

汗を蒸散する新素材採用

ゴム張り手袋国内シェアNo1のアトム（広島県竹原市、平雄一郎社長）は、このほど夏場の猛暑対策用手袋として「ケミソフト®クーリング」を開発。5月下旬から本格販売を開始した。

同製品は背抜きのウレタン加工（S・M・Lの3サイズ）で、倉庫内のピッキングなどの軽作業や、ガーデニングなど、細かい作業に最適な手袋。原手に汗を吸って蒸散させるインビスタ社の「クールマックス®」を採用。汗などのべたつきが軽減され、薄手で清涼感があり、快適に作業が行える。また梱包作業など（本社工場、本郷工場）に使用する粘着テープが付きにくいなどの特長がある。同社が手袋で夏用の新商品を発表するのは初めてのこと。

手袋は夏場の売上が落ち込むことから、この新商品を通じて年間での売上平準化を図る狙いもある。

同社の14年度上期（14年8月～15年1月）の販売は、食品関係、自動車関係の需要堅調が要因となり、前年同期対比で微増となった。

左・新発売の夏場用作業手袋「ソフトケミクーリング」、右・「ソフトケミウォーマー」

同社は国内工場2ヵ所海外では中国とタイに生産拠点を有しており、国内向けに輸入する他、現地販売や、北米など他地域への輸出も積極的に行っている。

近年では海外、特に中国の技術レベルが改善されてきており、新製品開発のスピードも早くなってきている。

ただ、急激な円安による為替差損の影響は免れず、15年1月に製品（一部製品を除く）の価格改定を実施。現在、改定はほぼ浸透しているとのことだ。

その他の注力商品として、作業用手袋のベストセラー商品「タフレッド」シリーズでは、手袋がずれにくいスリムな設計で、手にピッタリとフィットする「タフレッドスリム」を新発売。消費者が買い求めやすい価格帯に設定した。

近年は、作業の安全に対する各種基準・法令が強化される傾向にある。13年10月には「労働安全衛生規則」が改正され、食品加工用機械の作業には特殊な化学繊維製保護手袋等の使用が義務化された。

また、同年12月には消防庁により「消防団の装備の基準」等が改正され、消防団員の安全確保のため、耐切創性手袋が装備品に追加された。

これらの流れを追い風に、同社では耐切創性に優れる高機能繊維「ハイパーグリップス」シリーズ、および肩までカバーする「極寒ソフトロング55cm」などを災害復旧対策用に提案、拡販を図る方針である。

ヨツギ

低圧用ネオフィット発売

絶縁性能保ち作業性向上

ヨツギ（大阪市西区、代継直人社長）はライフライン全般で使用される建障用品、保護具（手袋、長靴、作業着など、低圧から高圧までの電気回路作業から身を守る製品）、防具などを製造、販売。1934年の創業以来、『安全性を徹底して追求すること』を通して尊い人命を守り、生活（くらし）を支え、社会に貢献することをテーマに企業活動を続けている。

同社は4月、新製品「低圧ゴム手袋 ネオフィット」の本格発売を開始した。同製品は、低圧電気回路での活線作業で、感電などの危険から作業者を守る。各種計器類のデジタル化に伴い小型化が普及する中、小さいネジやワッシャーなどを扱いやすいよう、指先のフィット感を意識的に高めた。また、以前に比べて作業員の指先の曲げ伸ばしに負荷がかからないよう工夫され、安全性を保ちつつ作業性を重視した設計に変更した。

近年は電気自動車、ハイブリッド車の普及が進み、住宅でも太陽光発電や燃料電池、スマートメーター等を設置する家庭が増加し、電気がより身近なものになりつつも、使われる電気は高効率を追求するため使用される電圧も年々上がってきており、それだけ危険と隣り合わせの生活環境になっている。

ネオフィット

同社では「電気を使用した車両が普及することで修理や、事故に伴う救助、撤去などで機器に触れるケースも増加する。住宅についても電源ユニットを使用した生活スタイルになれば、故障やメンテナンスの機会も増える。従来は使用されなかった場面でも、安全性の観点から、今後は絶縁性能を備えた手袋がますます必要とされるだろう」（東京本社営業本部市場開発室山田昌良室長）と見ている。

そうした流れから、電気絶縁用手袋のトップメーカーである同社では、長年の実績を生かし、昨年より同製品を試験的に投入して市場調査を実施してきた。絶縁性能を落ときずに作業性を高めた同製品は反響を呼び、今春から本格販売の運びとなった。

同製品は用途と性能に合わせてA・B・Cの3タイプがあり、CタイプはJIS T8112－2014『電気絶縁用手袋』の「J0」クラスの最大電圧に対応し、厚生労働省型式検定を取得している。

今後は、同社の主要需要先である電力・通信などインフラ関係はもちろん、一般産業、防災など様々な事業領域にも同製品の拡販を図る方針である。

また、海外では新興国を中心に電力需要が伸長。同社では電圧や規格の違う海外の仕様に合わせて、幅広く品揃えを行っており、グローバルな営業展開にも努めている。

「国際入札により競争は厳しいが、『電気用絶縁手袋のヨツギ』として、使いやすさと長年の信頼性で多様化する自動車産業やエネルギー産業分野などで指定されるよう、性能向上に努めたい」（同氏）としている。

ダンロップホームプロダクツ

「プリティーネ」販売好調

作業用手袋を拡充・強化

ダンロップホームプロダクツ（大阪市中央区、松下裕臣社長）の主力商品である家庭用手袋「樹から生まれた手袋 プリティーネ」は、引き続き販売が好調だ。

デザイン性を重視したプリティーなフォルムとカラーが、毎日の暮らしに彩りを添えるとともに、ギャザー採用による「ズレ防止機能」や、指先フィット設計で、細かな作業にも最適なゴム手袋。気になるゴムの臭いをしっかりカットし、カラーのみならず、指先を細くした機能性により高い評価を得ている。樹から生まれた手袋シリーズでは、「リッチ」「グッドネ」とともにパッケージも一新し、今後も販売拡大に注力していく。

作業用手袋の売れ筋商品は、発泡天然ゴムがしっかりグリップする園芸・農作業、日曜大工、一般作業向け手袋「パワフルフィット」だ。塩化ビニール製に比べ丈夫で低温化でも硬くなりにくい天然ゴム製。

手のひらに特殊すべり止め加工を施し、高いグリップ性を実現しているほか、背抜きタイプなので通気性に優れムレにくい。ユーザーからは、軽くて手にフィットする特長が評価されている。

同社は今年に入り、家庭用手袋の新製品を相次いで上市した。

3月には家庭園芸用手袋「マイリトルガーデン」をリニューアル。従来のMサイズに加えSサイズを追加し、長さもそれぞれショートサイズとロングサイズを用意。

柄も一新し、太陽の恵みを浴びて育つ植物をモチーフにした「たんぽぽ」、古典的で落ち着きのある「つたつむり」、レトロ調で大正ロマンあふれる「さくら」の3種類とした。

また、4月より家庭用天然ゴム手袋「樹から生まれた手袋 さらさらりん」を発売。

やわらかい「セラテックス」を使用したほか、裏地はナイロン製の編手袋で肌触りがよく、優しく快適な付け心地を提供できる。「セラテックス」は天然ゴムのタンパク質や不純物を独自の手法でほとんど分解・除去したして使用できるのが特長。

作業用手袋では、昨年10月より耐切創・耐溶剤手袋「サミテック プロフェッショナル」シリーズを新発売。

同シリーズは欧米をはじめ海外で販売している手袋ブランド。

今回、ガラスや金属などの取り扱い、耐切創手袋5種類と耐切創袖カバー1種類、耐溶剤手袋3種類の計9種類を発売し、作業用手袋のラインアップを拡充する。

ダンロップ プリティーネ

宇都宮製作

「防菌ウェットワイパー」開発

「プロプラス」ブランドで展開

『まもる』を製（つく）る！」をスローガンに、安全・清潔を追求し人と環境をまもり続ける宇都宮製作（大阪府東大阪市、大西健路社長）は新ブランド「プロプラス」を立ち上げ、防菌・抗ウイルス作用が長時間持続する「プロプラス防菌ウェットワイパー」を開発、洗浄・防菌市場に本格参入する。

この防菌ウェットワイパー（不織布ワイパー）は広島大学が開発した「第四級アンモニウム塩」を対象物の表面に固定化できるようにした化合物（特許成分Etak）を配合しており、対象物に固定化され、除菌効果が持続（防菌）、低濃度で幅広い除菌スペクトル、乾燥後は無臭、漂白作用が無いのが特長。荷姿はプラスチックバケツタイプが4個入、また詰替用の袋入を6袋入で展開。

同社では、「一般の除菌ワイパーでは一旦拭いたときは菌がほぼゼロになるが、そのあとすぐに菌が湧いてきて付着する。この防菌ワイパーは綺麗にしたあと一定の期間 菌の発生を抑制する」（大西浩太郎取締役）とし、業務用としては初めて宇都宮製作が医療、介護、食品・外食産業、学校・教育施設、公共施設向けに四月から本格販売を開始した。同社は『まもる』を製（つく）る！」を具現化するため、創業110周年時に、ただのプロでは終わらない「プロプラス」という新しいブランドを策定。メディカル事業部のコンセプトメッセージである感染管理に役立つ製品を具現化したのが、この「プロプラス防菌ウェットワイパー」。同社では「プロプラス」の冠を付けて全社で販売を行い、同社の年間100億円の売上高の中で、手袋以外での大きな柱としていく方針。

一方、同社の手袋販売は、メディカル事業部、サニテーション事業部で全体の約65%を占める。手袋の新製品としてはシンガーブランドの「ライトシリーズ化」を図っており、昨年の7月にNBR製、11月にPVC製の新製品を発売しているが、今年6月から天然ゴムラテックス製のライトシリーズの新製品を発売する。手袋の需要傾向として、より軽量化、薄膜化が進んでいるのに対応したもので、シンガーブランドの中の軽くて、薄いブランドでライトの冠をつけた。メインは食品、メディカル用途。

2014年度の業績動向については、為替円安による影響や製品価格への転嫁が浸透せず、微増収減益となった。今年度の課題としては、安定収益の確保となるが、「昨年度、苦労した製品価格への転嫁がお客様に受けいれられていることで、この4月からは正常な形で進められてる。手袋は消耗品であり価格競争に入っていく傾向にあるが、今回、上市した防菌ウェットワイパーなどの高付加価値製品で市場を確保していきたい」としている。

防菌ウエットワイパー

ふんわり&サラサラな優しい肌触り
お肌よろこぶ裏地付き手袋
ダンロップホームプロダクツ
さらさらりん Sara Sararin
ふんわり裏地
（ナイロン編手）
便利なフック付

Mサイズ/Lサイズ
株式会社ダンロップホームプロダクツ
〒541-0059 大阪市中央区博労町 4-6-10 TEL.06-6120-7323 http://www.dhp-dunlop.co.jp

耐切創手袋シリーズ
HYPER GRIPS®
ハイパー グリップス®

平成25年10月1日から食品加工用機械についての規定を追加した
改正『労働安全衛生規則』※が施行されました。
食品の原材料の送給・取り出し時の運転停止、用具の使用（特殊な化学繊維製の保護手袋等）が義務化されました。
※「労働安全衛生規則」改正について http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei14/130606-3.pdf
アトム株式会社
〒729-2317 広島県竹原市忠海東町4丁目2-1 TEL.0846-26-1258 FAX.0846-26-2561
ホームページ http://www.atom-glove.co.jp